

今週（2月24日から2月28日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、例年通り試し取りを実施する先が多く、政策金利を上回る水準での出会いも多数見られたが相場への影響は限定的であった。通常の取引では、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが強く、出会いレートは週を通して0.475～0.477%程度で落ち着いて推移する展開となった。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、試し取りの影響により25日(火)は0.479%に上昇したが、26日(水)と27日(木)は0.477%で推移し、28日(金)も概ね横這い圏での取引が中心となった。

ターム物については、引き続き証券業態から3月末越え物の調達ニーズが強く、3M物で0.60%前後での出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、25日(火)に財政資金のまとまった支払いが見られた事で、531兆円台後半まで増加してスタートし、その後は大きな増減はなく、概ね横這い圏での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出会い水準は、0.40～0.50%近辺で推移した。

SC取引については、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンが概ね横ばい圏での推移となった。

28日(金)に実施された3M物入札はややテールが流れる結果となったが、その後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

●CP市場

今週は月末発行週にあたり、不動産、機械、食料品など複数の業態から大型発行が実施された。

市場残高は、週を通して25兆円台で安定的に推移する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
2/24（月）						
2/25（火）	38,237.79	1.380	150.19	0.479	0.491	5,318,700
2/26（水）	38,142.37	1.365	148.88	0.477	0.474	5,311,300
2/27（水）	38,256.17	1.390	149.16	0.477	0.439	5,318,700
2/28（金）	37,155.50	1.370	149.62	0.477	0.465	5,312,600

来週（3月3日から3月7日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
3/3 (月)					2月のISM製造業景況指数 1月の米建設支出 2月のユーロ圏消費者物価指数速報値
3/4 (火)	1月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 1月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 2月のマネタリーベース(日銀 8:50) 10-12月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50) 2月の消費動向調査(内閣府 14:00) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 26,000億円 3/5発行			
3/5 (水)	内田副総裁 静岡県金融経済懇談会における挨拶 3月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				2月のISM非製造業景況指数 1月の米製造業新規受注・出荷・在庫 米ページブック
3/6 (木)		TB6M 35,000億円 3/10発行	30Y 9,000億円 3/7発行		ECB定例理事会 1月の米貿易収支 1月の米卸売売上高
3/7 (金)	2月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50)	TB3M 45,000億円 3/10発行			2月の米雇用統計 1月の米消費者信用残高 10-12月期のユーロ圏GDP確報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/3 (月) 日銀予想	500	▲ 36,700	▲ 36,200	国債補完 成長基盤	12,900 ▲ 6,700		6,200	▲ 30,000	財政融資資金の回収 TB3M発行▲45,000償還43,000 2Y発行▲26,000償還19,300
3/4 (火) 弊社予想	500	▲ 50,000	▲ 49,500				0	▲ 49,500	法人税・消費税揚げ 年金保険料揚げ 交付税借入▲12,500期日12,500
3/5 (水) 弊社予想	500	▲ 26,000	▲ 25,500				0	▲ 25,500	10Y発行▲26,000
3/6 (木) 弊社予想	500	3,000	3,500				0	3,500	
3/7 (金) 弊社予想	▲ 500	2,000	1,500				0	1,500	30Y発行▲9,000
週 間 合 計	1,500	▲ 107,700	▲ 106,200	—	6,200	0	6,200	▲ 100,000	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、レートは0.475～0.478%近辺での推移が予想される。債券レボGC T/N物は、0.40～0.50%程度のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、3月6日(木)に6M物、7日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月初の発行となり、期末越えの発行残高がどこまで膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では3月4日(火)に1月の有効求人倍率・完全失業率、10-12月期の法人企業統計調査季報、5日(水)に内田副総裁の静岡県金融経済懇談会における挨拶、海外では3日(月)に2月のISM製造業景況指数、2月のユーロ圏消費者物価指数速報値、5日(水)に2月のISM非製造業景況指数、6日(木)にECB定例理事会、7日(金)に2月の米雇用統計、10-12月期のユーロ圏GDP確報値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。